

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 355

所管部局	美山支所	所管課	産業建設課	担当者名	中野 修
事業名	緊急雇用創出事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	西の鯖街道整備事業			政策体系	244
会計	一般会計	科目	5.労働 - 1.労働 - 1.労働		

1. 事業の概要

西の鯖街道は、高浜から京都市内へと海産物を運搬した街道で、南紀熊野古道に並んで歴史が古い。高浜から京都市内へと繋がる道はたくさんあり、いくつもの鯖街道が確認されているが、道幅が狭かったり、高低差がある等で、だんだんと使われなくなり荒廃がすすんでいる。そこで昔の人が歩いて荷物を運んだ鯖街道を、再び人が歩けるようにするために草刈と倒木処理、看板設置を行う。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

荒廃が進んでいる西の鯖街道の草刈と倒木処理、看板設置を行い、再び人が歩けるようにし、地域の歴史的観光資源としての利用を目指す。

②事業を実施する必要性

緊急雇用創出事業として失業者の雇用の創出と、地域の新たな歴史的観光資源の掘り起こしによる地域の活性化をはかる。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円				1,000			
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円				0			
財源内訳	使用料・手数料等	千円			0			
	国・府支出金	千円			1,000			
	地方債	千円			0			
	一般財源	千円			0			
職員等の従事人員	人/年	—	—		0.07			
人件費	千円	—	—		482			
事業費総額	千円	—	—		1,482			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

西の鯖街道整備事業	1,000,000円
委託料内訳	
人件費	688,737円
材料費	139,815円
管理事務費	102,148円
借上料	69,300円

5. 事業結果の概要

海老坂峠、神楽坂峠、堀越峠、五波峠、棚野坂峠、深見峠、知井坂峠において倒木除去、歩道修理、道標設置を実施。
 旧高浜街道静原において石標の整備を実施。

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 峠道現地踏査		
西の鯖街道として整備する峠の現地踏査を実施し、倒木の状況や修理が必要な歩道の確認と、道標が必要な箇所を確認。	平成21年9月9日～9月29日	
(2) 倒木除去・歩道修理・道標設置		
海老坂峠において、倒木除去・歩道修理・道標設置	平成21年9月10日～12月20日	
神楽坂峠において、倒木除去・歩道修理・道標設置	平成21年9月10日～12月22日	
堀越峠において、倒木除去・歩道修理・道標設置	平成21年9月12日～12月14日	
五波峠において、倒木除去・歩道修理・道標設置	平成21年9月12日～12月4日	
棚野坂峠において、倒木除去・歩道修理・道標設置	平成21年9月14日～12月24日	
深見峠において、倒木除去・歩道修理・道標設置	平成21年9月14日～12月23日	
知井坂峠において、倒木除去・歩道修理・道標設置	平成21年9月29日～12月10日	
(3) 石標現地踏査		
旧高浜街道鶴ヶ岡・宮島において、石標の現地踏査	平成21年12月15日	
(4) 石標整備		
旧高浜街道静原において、石標の整備	平成21年12月16日	

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

本事業により市内の失業者の雇用創出が図れた。
平成21年度に設立された「西の鯖街道連絡協議会」による街道沿線地域の産業振興とともに、本事業における「鯖街道（旧街道）」の古道の復活整備により、今後、歴史的観光資源として利活用の促進を図る。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

--